



# ていすかす

51号



発行・登別市議会／編集・議会だより編集特別委員会／発行日・2008.12.1

**祝 登別温泉開湯150年!!**

## 調査特別委員会を立ち上げる!!

議会発議による  
臨時議会招集を要請

登別市議会では、市の医療費助成事業で、高額療養費の一部が未請求となっている問題に対し、調査特別委員会を9月11日に立ち上げました。

◎問題となっているのは・

市の「乳幼児医療費助成、重度心身障害者助成、ひとり親家庭等医療費助成」の各医療費助成事業における高額療養費の取扱事務において、市が医療機関に支払った医療費のうち高額療養費について各保険者に対する請求漏れがあり現時点で約4千5百万円の影響額があります。平成16年1月から19年12月診療分（乳幼児は16年2月から20年1月まで）の請求で、社会保険や各健康保険組合、市町村共済組合などに対する請求事務を怠っていたものです。

◎請求する仕組みは・

各助成事業の対象になると、医療機関は、患者が窓口で支払った自己負担額を除く医療費の全額を市に請求して、市が医療機関に支払います。

その後、高額療養費の適用となるものについては、市が受取代理人を市長とした支給申請書を被保

険者から集約し、各保険者（国民健康保険、社会保険など）に請求する仕組みです。

◎議会独自の・

「原因究明と再発防止」へ

これまでの審議では「職場内の意思疎通が図られていない組織体制の問題」や「台帳の未整備」などの実態が明らかになりました。

これらの現状を踏まえ、委員会としては、さらに原因を究明すると共に、再発防止対策に加え、責任問題や補てん方法等に対して、引き続き審議を継続しています。



福祉のまちづくり条例案  
取り下げを決める

小笠原新市長就任後、初めての定例会が、9月24日から10月17日までの会期で開催されました。

議案として提案されたのは：

- ①平成19年度各会計決算の認定。
  - ②平成20年度一般会計および水道事業会計予算の補正。
  - ③登別市副市長の選任、教育委員会委員の任命についてなど。
- 以上の25件について、審議を行いました。

一方、継続審査となっていた「福祉のまちづくり条例案」については、生活・福祉委員会から「承認は極めて困難。新市長による再検討を要請する」などの中間報告を行いました。その結果、新市長から同条例案取り下げの申し出があり、全会一致で承認しました。

また、一般質問は、13名の議員が登壇し、市長の所信表明を中心に議論が展開されました。

平成19年度全会計の決算審査は事前に資料要求を行い、去る11月10日～13日まで議長、監査委員を除く19名により実施しました。